

性と健康を考える女性専門家の会
NPO法人 子宮頸がんを考える市民の会 共催

今こそ知りたい！ 子宮頸がんについて考えよう

私共は、性感染予防の1つとして、ヒトパピローマウイルス（HPV）の感染を防ぐことを呼び掛け、子宮頸がん予防についての啓発活動を行っています。

今回は、女性の視点から「なぜ日本の女性が検診を受けないのか」「検診で子宮頸がんを予防できるのか」「HPVワクチンは必要なのか」といった疑問を考えていきたいと思います。

多くの方のご参加をお待ちしております。

日時：2013年11月24日（日）13:00～16:30 《12:30より受付開始》

場所：東京シティアターミナル内T-CATホール（東京メトロ半蔵門線 水天宮前駅 直結）

共催：性と健康を考える女性専門家の会 NPO法人 子宮頸がんを考える市民の会

参加費：会員 1,000円／一般 2,000円／学生（大学院生を除く）1,000円

定員：120名（定員になり次第締め切りますので お申し込みはお早めをお願いいたします）

13:00～13:15 「子宮頸がんの基礎知識」

江夏亜希子（四季レディースクリニック）

13:15～14:05 「子宮頸がんは検診だけでは予防できないー英国・オーストラリアの現状と
今 日本にある様々な誤解ー」

シャロン・ハンリ（北海道大学医学研究科）

14:05～14:35 「日本の子宮頸がん予防の将来を考える」

宮城悦子（横浜市立大学医学部産婦人科）

ー休憩 15分ー

14:50～15:20 「子宮頸がん検診の落とし穴～若年者へのヘルスケアと子宮頸部腺がん」

種部 恭子（女性クリニックWe!TOYAMA）

15:20～15:40 「23歳で子宮頸がんを体験して」 日本対がん協会 阿南里恵

15:40～16:30 ディスカッション 江夏亜希子 シャロン・ハンリ 宮城悦子 種部恭子 阿南里恵

司会 早乙女智子（神奈川県立汐見台病院 産婦人科）

お問い合わせ・申し込み 「性と健康を考える女性専門家の会」事務局

〒104-0045 中央区築地1-9-4 ちとせビル3F

TEL:03-5565-3588 FAX:03-5565-4914 MAIL:pwcsch@ellesnet.co.jp

FAX（03-5565-4914）かメール(pwcsch@ellesnet.co.jp)でお申し込みください（11月18日締切）

☐性と健康を考える女性専門家の会 会員 ☐一般 ☐学生

●多くの方に勉強していただく場ですので、静かにお願いいたします。

進行を妨げるような行為がありましたら退場していただきます。

お名前： _____ ご所属： _____

お電話： _____ FAX： _____

E-Mail： _____